

future touch

株式会社管理システム



会社概要

株式会社 管理システム

本 社 所 在 地	〒998-0102 酒田市京田2-69-8 TEL:0234-41-1355 FAX:0234-31-5229 URL: http://www.kksnet.co.jp/
設 立 年 月 日	平成5年5月13日(1993年)
資 本 金	5,530万円
年 商	21億円(令和4年度)
代 表 取 締 役	今野 修
支 店 ・ 営 業 所	山形本部(山形市)、東京支社(川崎市) 鶴岡支店[アール・イー・シー](鶴岡市)
事 業 内 容	・情報処理システムサービス事業 ・環境事業

令和5年3月25日
酒田市京田2丁目69番8号
株式会社 管理システム

[計 画 概 要]

[A] 工事名称

①産業廃棄物焼却処理施設 新設工事

[B] 設備規模

①72,000 Kg/日 (24時間/日)

[C] 建設場所

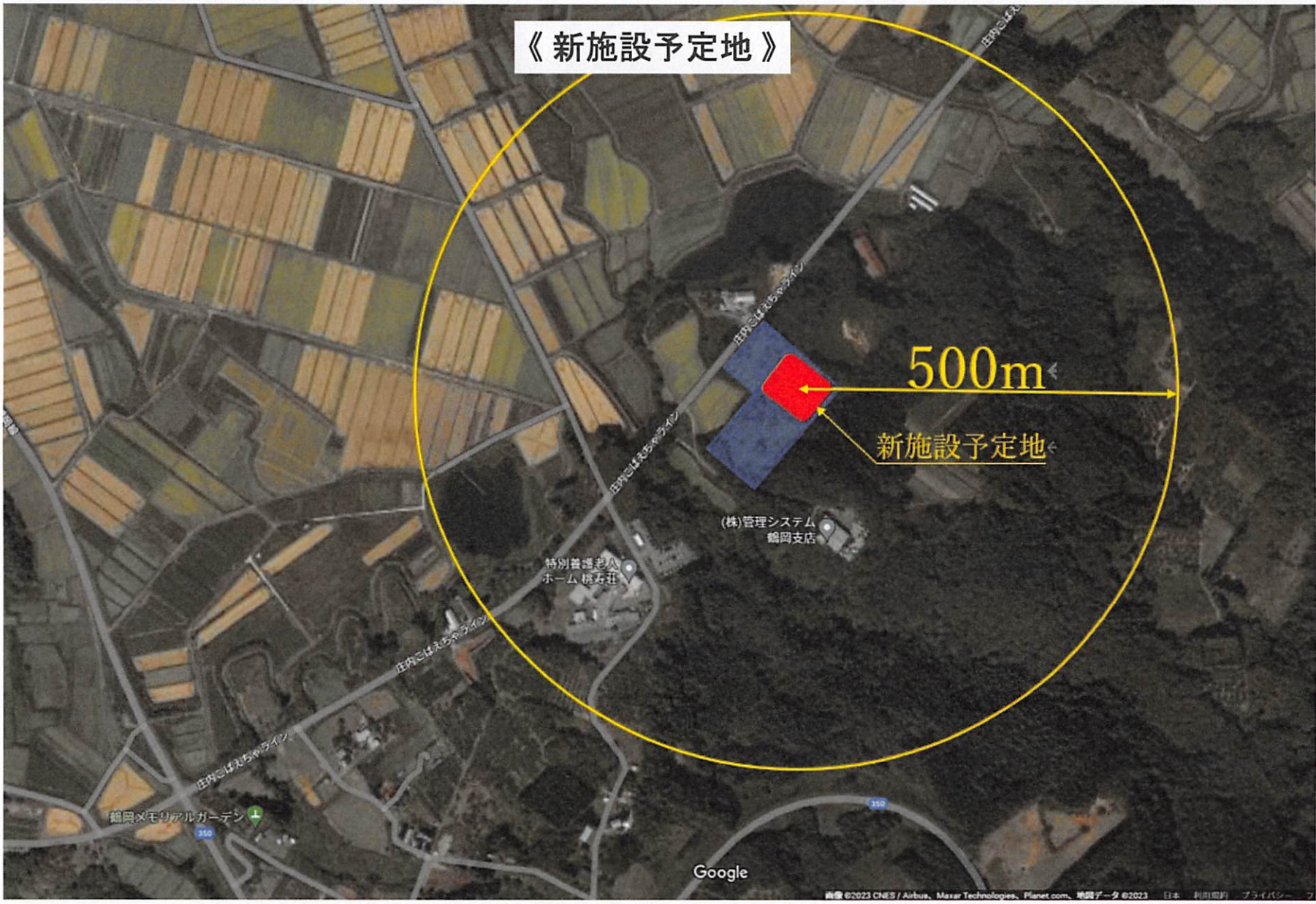
①山形県鶴岡市梳代早坂706番2

②敷地面積 9,900 m² (約 3,000 坪)

[D] 完成予定図 (イメージパース)

①別紙、イメージパース図をご参照下さい。
※実際の完成図とは異なります。予想図となります。

《新施設予定地》



(株)管理システム
鶴岡支店

特別養護老人
ホーム 桃右荘

500m

新施設予定地

Google


《完成予定図》
(イメージパース)

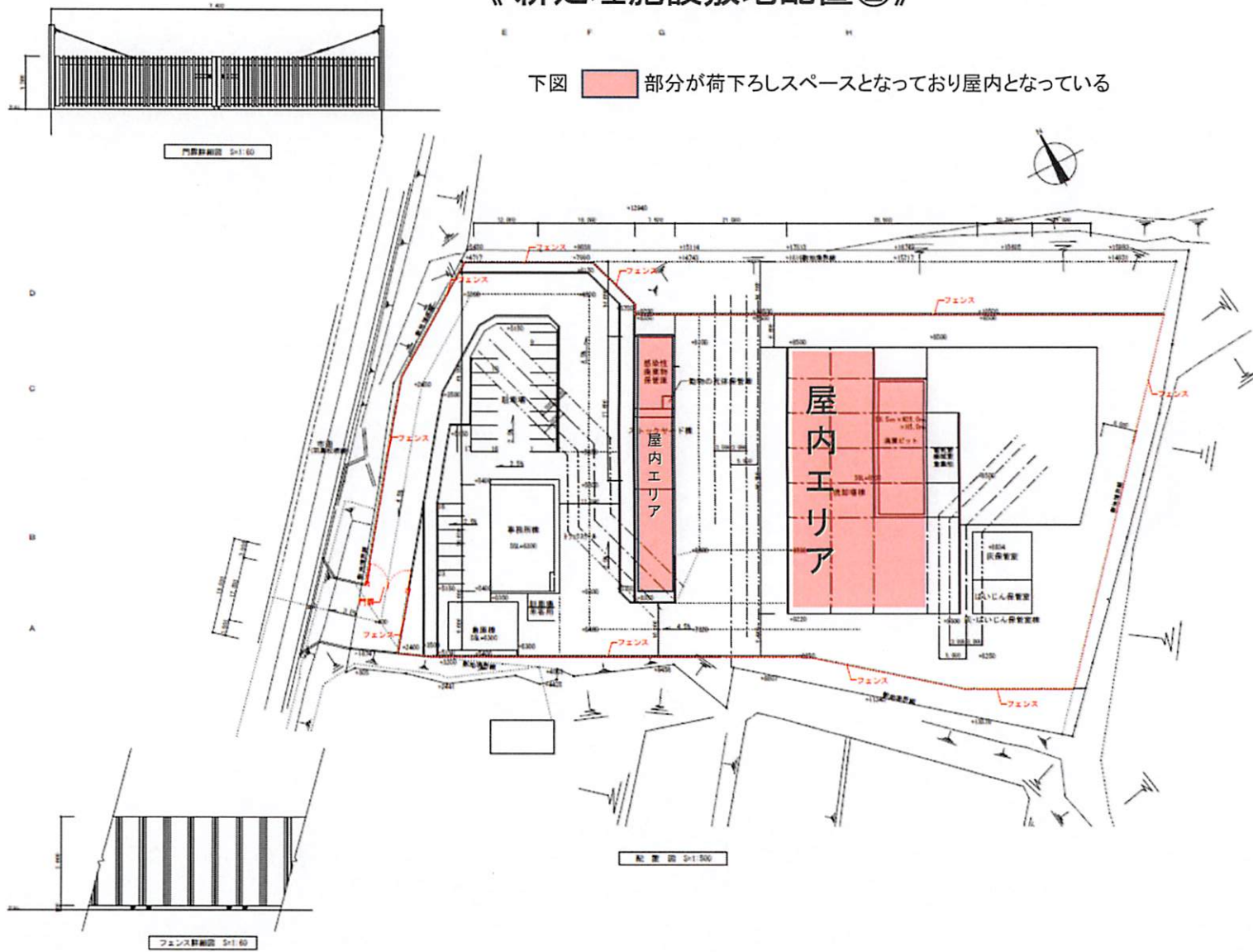


《新处理施設敷地配置①》

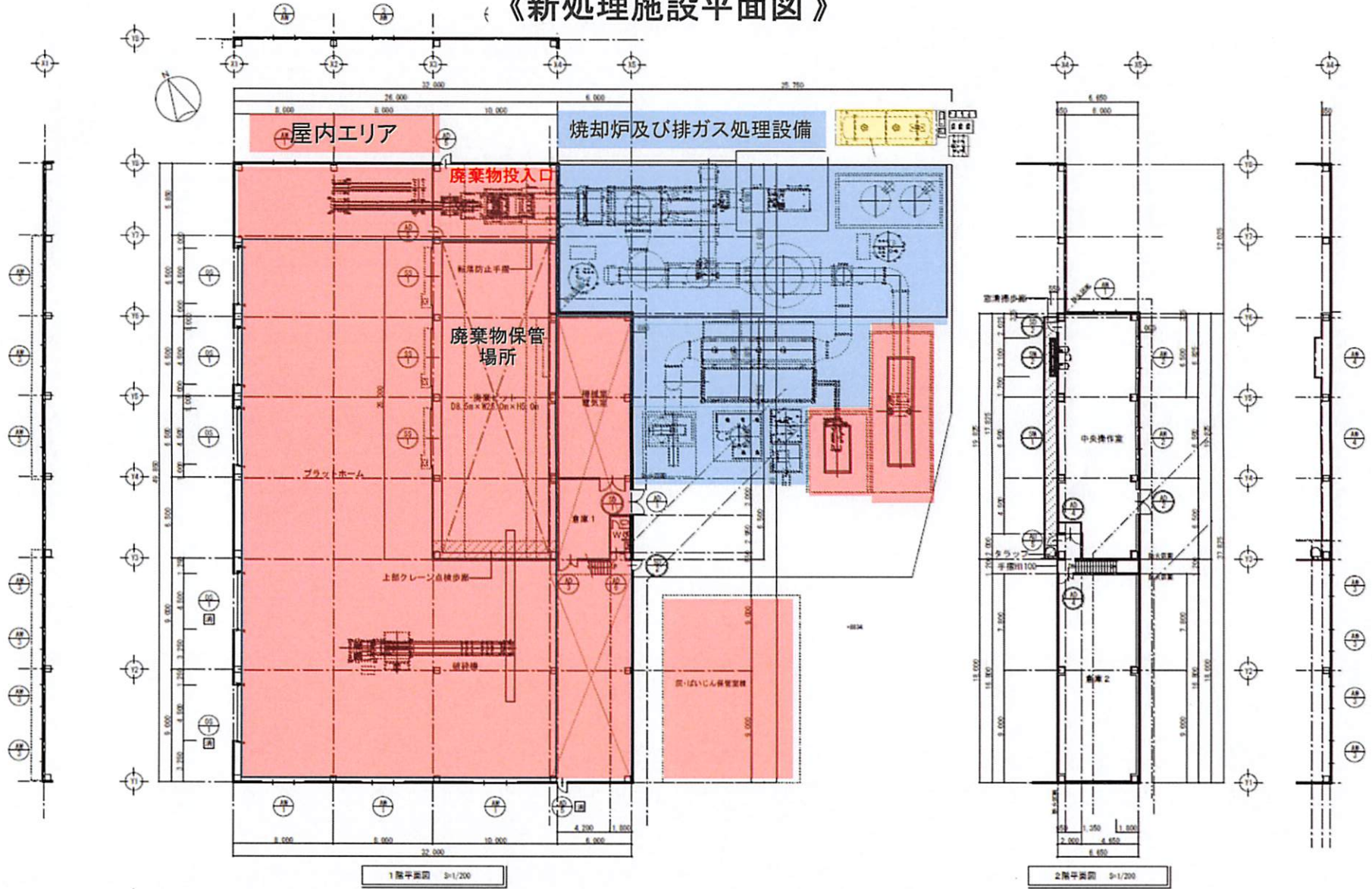


《新処理施設敷地配置②》

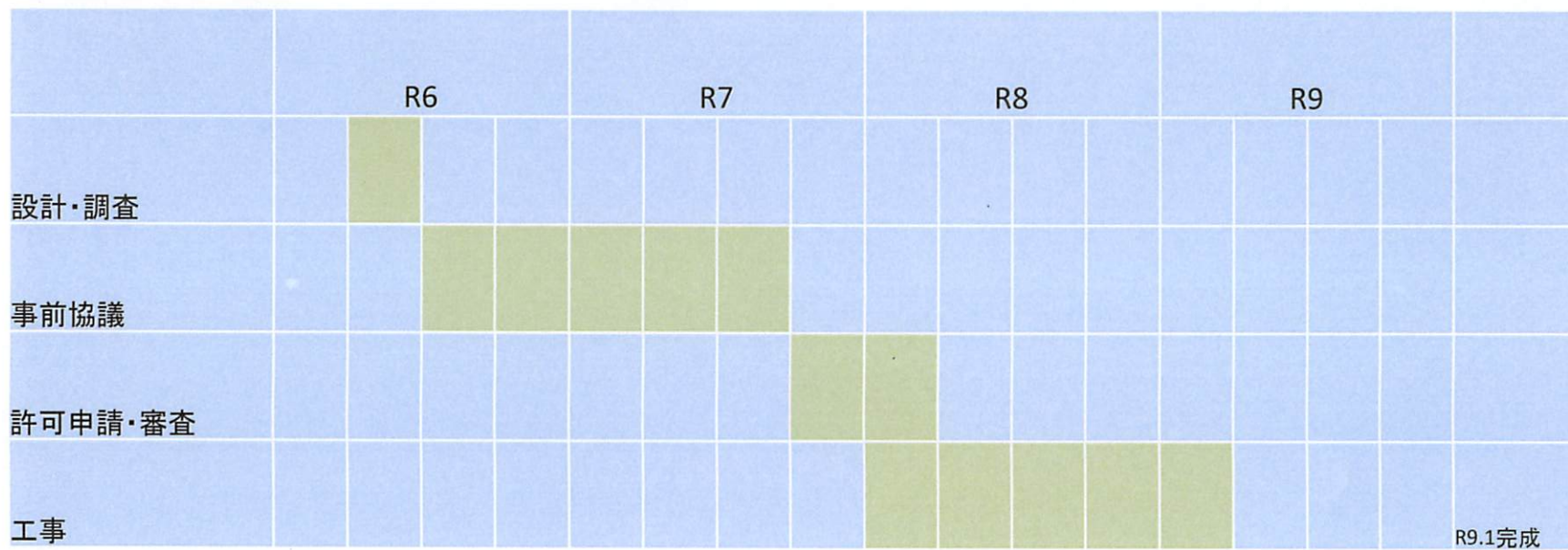
下図  部分が荷下ろしスペースとなっており屋内となっている



《新処理施設平面図》



◆概略工程



○廃棄物処理品目

処理する廃棄物の種類	NO.	既設処理施設	新設処理施設
	1	—	燃え殻
	2	—	汚泥
	3	—	廃油
	4	—	廃酸・廃アルカリ
	5	廃プラスチック類	廃プラスチック類
	6	紙くず	紙くず
	7	木くず	木くず
	8	繊維くず	繊維くず
	9	動植物性残さ	動植物性残さ
	10	ゴムくず	ゴムくず
	11	金属くず	金属くず
	12	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず
	13	—	動物の死体
	14	—	動物系固形不要物
15	感染性廃棄物	感染性廃棄物	

○既設処理施設では、処理不可であった廃棄物も、新設処理施設では可能となります。一括した処理体制が整う事により、一層便利で使い勝手の良い処理施設となります。

既存施設・新施設の比較(年間処理量)

既設処理施設での産業廃棄物処理実績及び新施設での処理見込

種類	2023年度既存施設処理実績 処理量(t/年)	新施設での処理見込 処理見込(t/年)
1 廃プラスチック類	1,002	4,100
2 紙くず	2	4,210
3 木くず	161	3,130
4 繊維くず	39	2,160
5 ゴムくず	0	72
6 動植物性残さ	137	792
7 金属くず	11	216
8 ガラスくず及び陶磁器くず	49	216
9 混合廃棄物(木くず・紙くず・廃プラスチック類)	88	440
10 感染性廃棄物	1,423	2,520
11 燃え殻	-	144
12 汚泥	-	1,800
13 廃油	-	216
14 廃酸・廃アルカリ	-	1,440
15 動物系固形不要物	-	72
16 動物の死体	-	72
合計	2,912	21,600

既存施設・新施設の比較(排出ガス)

		既設での排ガス量(Nm ³ /h)	新設での排ガス量(Nm ³ /h)
1	乾きガス	8,860	29,310
2	湿りガス	12,807	46,038

※ 乾きガスは排気ガスより水分(廃棄物・燃料に含まれる水分、及び冷却のために吹き付けられた水)を除いたガス

※ 湿りガスは水分を含むガス

◆排ガス中の各物質濃度

項目	公害防止基準	既設処理施設	新設処理施設	単位
ばいじん	0.08~0.15	0.12	0.08	g/Nm ³
硫黄酸化物(K値)	17.5	17.5	12.0	
窒素酸化物	250	250	250	ppm
塩化水素	700	560	560	mg/Nm ³
全水銀	30~50	50	30	μg/Nm ³
一酸化炭素	100	100	100	ppm
ダイオキシン類	1~5	4	1	ng-TEQ/Nm ³

環境アセスメント概要

全ての項目において環境保全目標数値を十分下回っており、影響は最小限に止められている

予測項目	予測結果		将来濃度	環境保全目標
	寄与濃度	B・G濃度		
二酸化硫黄(ppm)	0.00008927	0.001	0.00108927	0.04以下
二酸化窒素(ppm)	0.0005192	0.002	0.0025192	0.04~0.06のゾーン内又はそれ以下
浮遊粒子状物質(mg/m ³ N)	0.00007881	0.019	0.01907881	0.10以下
ダイオキシン類(Pg-TEQ/m ³ N)	0.001971	0.014	0.015971	0.6以下

※ 寄与濃度は新施設が排出する物質濃度

※ B・G濃度は実測の物質濃度（現在物質濃度）（測定時期：2022年12月～2023年10月）

※ 将来濃度は新施設が稼働することによって予測される物質濃度
（新施設排出濃度 + 現在物質濃度 = 将来濃度）

新処理施設フローシート

